

第3学年	技術 科	使用教材	教科書(「技術・課程 技術分野」開隆堂)	技術科担当 児玉 修也
------	------	------	----------------------	----------------

<学習の目標>

生活に必要な基礎知識と技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

授業のポイント	・授業や生活の中での体験や、理解したことを考え、発言する。 ・作品を作り上げる。安全に気をつけ、見通しを持ちながら作業を進める。
家庭学習について	・「My 学、ふりかえり」を通して、自分で考え工夫し、想像力を高める。 ・学習したことを自分の生活の中で、生かせそうなことを見つけて実践しましょう。
テストについて	・テスト勉強をしっかりとしましょう。授業での内容やテストについてのポイントをしっかりと学習しましょう。1学期末・2学期末テストを行います。

評価の観点	判断基準について
生活と技術についての基礎的な知識と技術を理解しているとともに、それらに係わる技能を身につけている。	授業中の様子・授業での発言・提出物・定期テスト課題に対する取り組みの姿勢
生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、実践・評価・改善などを通して課題を解決する力を身につけている。	授業中の様子・授業での発言・定期テスト課題（ふりかえり）に対する取り組みの姿勢
よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業中の様子・課題の進捗状況・定期テスト課題（My 学）に対する取り組みの姿勢

<年間授業計画>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	1わたしたちの生活とエネルギー変換 2電気エネルギーの利用 3動力の利用 4エネルギー変換の実践 5製作品の構想と設計・製作 6エネルギー変換に関する技術の評価・活用	・自然界のエネルギー資源について知り、それらを利用するしくみを理解する。 ・電気エネルギーを変換して利用するためのしくみを理解し、機器のしくみを説明できる。 ・目的に合わせて運動を変化させるためのしくみを理解し、どのように利用されているのかを知る。 ・機械部品と工具の使い方について知り、共通規格が定められている理由を考える。 ・エネルギー変換を利用した製作品の構想をまとめ、目的にあった製作品を制作する。 ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価と活用について、主体的に考える。	教科書 タブレット ソーラーチャージャの製作

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～

自ら考え、発信し、他者の考えや意見を取り入れながら課題に取り組む環境を整え、新たな学びや課題へと発展させる。